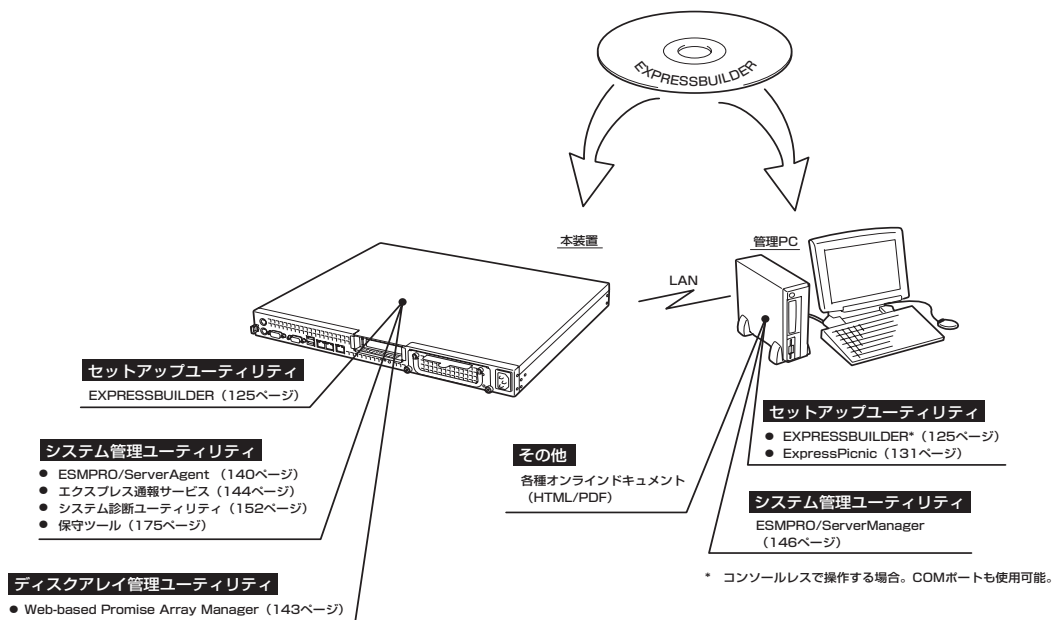
NEC Express5800シリーズ Express5800/110Ra-1h

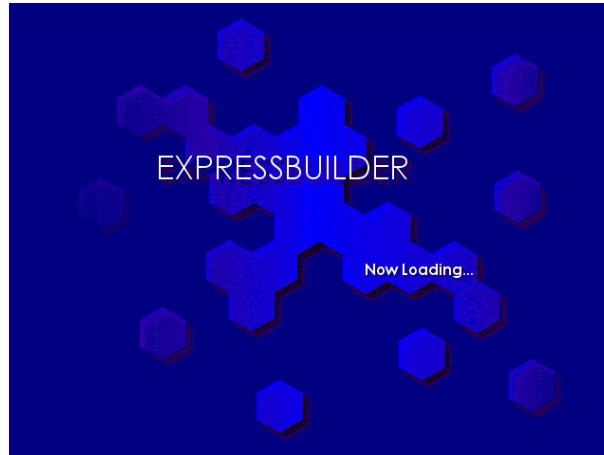
3 ソフトウェア編

Express5800シリーズ用に用意されているソフトウェアについて説明します。

添付のCD-ROMについて

添付のEXPRESSBUILDER® CD-ROMには、本装置を容易にセットアップするためのユーティリティや各種バンドルソフトウェアが収録されています。これらのソフトウェアを活用することにより、本装置の機能をより多く引き出すことができます。

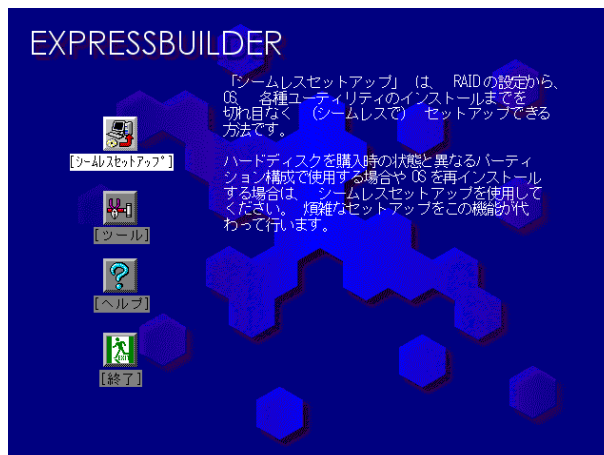
「EXPRESSBUILDER」CD-ROMは、本装置の設定が完了した後でも、OSの再インストールやBIOSのアップデートなどで使用する機会があります。紛失しないように大切に保存しておいてください。

EXPRESSBUILDER

「EXPRESSBUILDER」は、Express5800シリーズに接続されたハードウェアを自動検出して処理を進めるセットアップ用統合ソフトウェアです。EXPRESSBUILDERからOSをインストールする際には、インストール対象のハードディスクドライブ（またはディスクアレイの論理ドライブ1台のみ）だけを接続してセットアップしてください。

起動メニューについて

EXPRESSBUILDERには2つの起動方法があります。起動方法によって表示されるメニューや項目が異なります。

● **EXPRESSBUILDER CD-ROMから起動する**

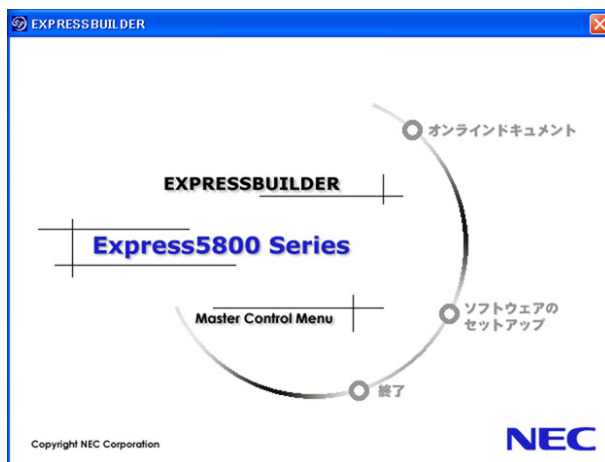
EXPRESSBUILDERを本体のCD-ROMドライブにセットして、EXPRESSBUILDER内のシステムから起動する方法です。この方法でシステムを起動すると下に示す「EXPRESSBUILDERトップメニュー」が表示されます。

このメニューにある項目から本装置をセットアップします。

- **本装置以外のコンピュータおよびEXPRESSBUILDERが添付されていた装置以外のExpress5800シリーズで起動しないでください。故障の原因となります。**
- **メニューの「シームレスセットアップ」を実行するとあらかじめインストールされているOSを消去します。OSもインストールし直す必要があります。**

EXPRESSBUILDERトップメニューについてはこの後の「EXPRESSBUILDERトップメニュー」を参照してください。

- **Windowsが起動した後にEXPRESSBUILDERをセットする**

Windows(Windows 95以降、またはWindows NT4.0以降)が起動した後、CD-ROMドライブにEXPRESSBUILDERをセットするとメニューが表示されます。表示されたメニューダイアログボックスは「マスターコントロールメニュー」と呼びます。

マスターコントロールメニューについてはこの後の「マスターコントロールメニュー」を参照してください。

EXPRESSBUILDERトップメニュー

EXPRESSBUILDERトップメニューはハードウェアおよびOS（オペレーティングシステム）のセットアップとインストールをするときに使用します。

> **重要**
> **BIOS の設定を間違えると、CD-ROM から起動しない場合があります。EXPRESSBUILDERを起動できない場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して以下のとおりに設定してください。**
> **－ 「Boot」メニューで「CD-ROM Drive」を1番上に、「Removable Devices」を2番目に設定。**

起　動

次の手順に従ってEXPRESSBUILDERトップメニューを起動します。

1. **周辺装置、本体の順に電源をONにする。**
2. **本体のCD-ROMドライブへ「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットする。**
3. **CD-ROMをセットしたら、リセットする（<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す）か、電源をOFF/ONして本体を再起動する。**

   CD-ROMからシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDERが起動します。

EXPRESSBUILDERが起動すると、以下のようなEXPRESSBUILDERトップメニューが現れます。

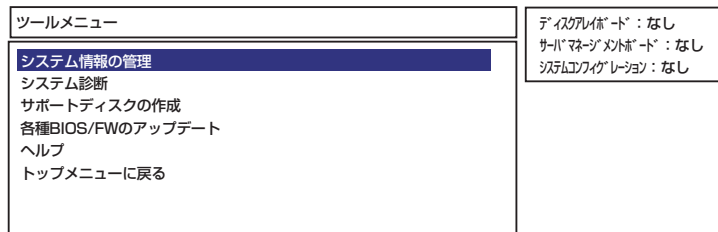
シームレスセットアップ

「シームレスセットアップ」とは、ハードウェアの内部的なパラメータや状態の設定からOS（Windows Server 2003）、各種ユーティリティのインストールまでを添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使って切れ目なく（シームレスで）セットアップできるExpress5800シリーズ独自のセットアップ方法です。
購入時の状態と異なるハードディスクドライブのパーティション設定で使用する場合やOSを再インストールする場合は、シームレスセットアップを使用すると煩雑なセットアップをこの機能が代わって行います。
「シームレスセットアップ」を選択すると、OSのインストールを開始します。

セットアップを開始したら、完了するまで本体の電源をOFFにしないでください。また、指示があるまでセットアップパラメータFDを取り出さないでください。

ツールメニュー

ツールメニューは、EXPRESSBUILDERに収められている各種ユーティリティを個別で起動し、オペレータが手動でセットアップを行います。「シームレスセットアップ」では自動設定できない設定や、より詳細に設定したい場合などに使用してください。
また、システム診断やサポートディスクの作成を行う場合も、ツールメニューを使用します。
次にツールメニューにある項目について説明します。

ﾃﾞｨｽｸｱﾚｲﾎﾞｰﾄﾞ：なし
ｻｰﾊﾞﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄﾎﾞｰﾄﾞ：なし
ｼｽﾃﾑｺﾝﾌｨｸﾞﾚｰｼｮﾝ：なし

- **システム情報の管理**

  装置固有の情報や設定のバックアップ（退避）をします。バックアップをしておかないと、ボードの修理や交換の際に装置固有の情報や設定を復旧できなくなります。

システム情報のバックアップの方法については、43ページで説明しています。なお、リストア（復旧）は操作を熟知した保守員以外は行わないでください。

- **システム診断**

  本体上で各種テストを実行し、本体の機能および本体と拡張ボードなどとの接続を検査します。システム診断を実行すると、本体に応じてシステムチェック用プログラムが起動します。152ページを参照してシステムチェック用プログラムを操作してください。

- **サポートディスクの作成**

  サポートディスクの作成では、EXPRESSBUILDER内のユーティリティをフロッピーディスクから起動するための起動用サポートディスクやオペレーティングシステムのインストールの際に必要となるサポートディスクを作成します。なお､画面に表示されたタイトルをフロッピーディスクのラベルへ書き込んでおくと、後々の管理が容易です。

  サポートディスクを作成するためのフロッピーディスクはお客様でご用意ください。

  – Windows Server 2003 OEM-DISK for EXPRESSBUILDER

    Windows Server 2003 Standard Editionをインストールするときに必要となるサポートディスクを作成します（「シームレスセットアップ」でインストールする場合は必要ありません）。

  – ROM-DOS起動ディスク

    ROM-DOSシステムの起動用サポートディスクを作成します。

- **各種BIOS/FWのアップデート**

  8番街で配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」を使用して、本装置のBIOS/FW（ファームウェア）をアップデートすることができます。「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」については、次のホームページに詳しい説明があります。

  『8番街』：http://nec8.com/

  各種BIOS/FWのアップデートを行う手順は配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」に含まれる「README.TXT」に記載されています。記載内容を確認した上で、記載内容に従ってアップデートを行ってください。

  「README.TXT」はWindowsのメモ帳などで読むことができます。

BIOS/FWのアップデートプログラムの動作中は本体の電源をOFFにしないでください。アップデート作業が途中で中断されるとシステムが起動できなくなります。

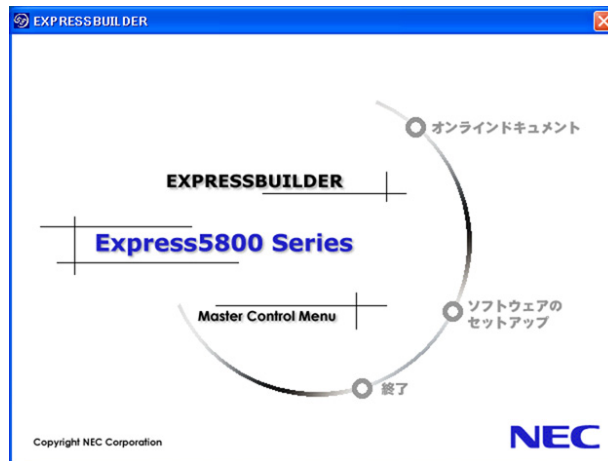
- **ヘルプ**

  EXPRESSBUILDERの各種機能に関する説明を表示します。

- **トップメニューに戻る**

  EXPRESSBUILDERトップメニューを表示します。

マスターコントロールメニュー

Windows(Windows 95以降、またはWindows NT4.0以降)が動作しているコンピュータ上で添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットすると、「マスターコントロールメニュー」が自動的に起動します。

システムの状態によっては自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、CD-ROM上の次のファイルをエクスプローラ等から実行してください。

CD-ROMのドライブレター :¥MC¥1ST.EXE

マスターコントロールメニューからは、Windows上で動作する各種バンドルソフトウェアのインストールやオンラインドキュメントを参照することができます。

オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていないときは、Adobeシステムズ社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしてください。

マスターコントロールメニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。

CD-ROMをドライブから取り出す前に、マスターコントロールメニューおよびメニューから起動されたオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

ExpressPicnic

「ExpressPicnic®」は、EXPRESSBUILDERのシームレスセットアップで使用する「セットアップパラメータFD」を作成するツールです。

EXPRESSBUILDERとExpressPicnicで作成したセットアップパラメータFDを使ってセットアップをすると、いくつかの確認のためのキー入力を除きOSのインストールから各種ユーティリティのインストールまでのセットアップを自動で行えます。また、再インストールのときに前回と同じ設定でインストールすることができます。「セットアップパラメータFD」を作成して、EXPRESSBUILDERからセットアップすることをお勧めします。

Microsoft Windows Server 2003 x64 Editions用の「セットアップパラメータFD」は作成できません。

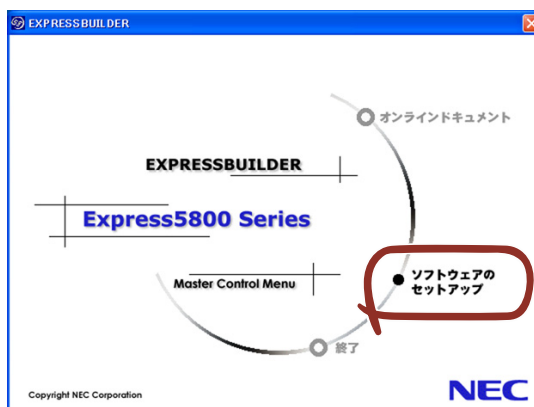
「セットアップパラメータFD」がなくてもWindows Server 2003をインストールすることはできます。また、「セットアップパラメータFD」は、EXPRESSBUILDERを使ったセットアップの途中で修正・作成することもできます。

セットアップパラメータFDの作成

OSをインストールするために必要なセットアップ情報を設定し、「セットアップパラメータFD」を作成します。以下の手順に従ってください。

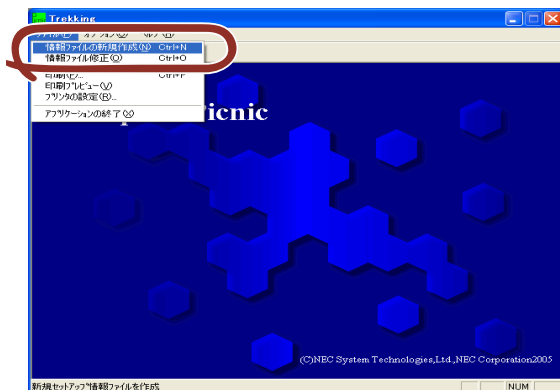
ExpressPicnicはPC98-NXシリーズ・PC-9800シリーズ・PC-AT互換機で動作します。

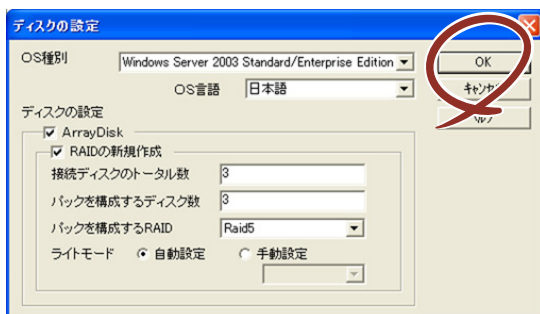
1. OSを起動する。
2. 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

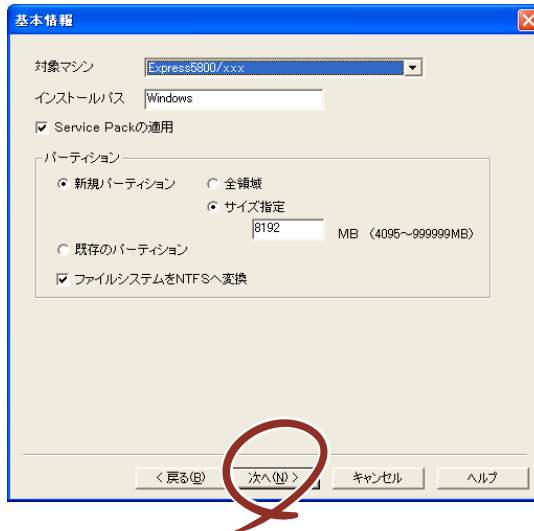
   マスターコントロールメニューが表示されます。
3. 画面上で右クリックするか、[ソフトウェアのセットアップ] を左クリックする。

4. [ExpressPicnic]をクリックする。

   ExpressPicnicウィンドウが表示されます。

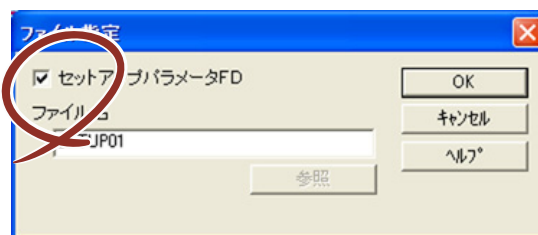
5. ［ファイル］メニューの［情報ファイルの新規作成］をクリックする。

   ［ディスクの設定］ダイアログボックスが表示されます。

6. 各項目を設定し、［OK］をクリックする。

   ［基本情報］ダイアログボックスなど、セットアップ情報を設定するダイアログボックスが順に表示されます。

7. メッセージに従ってダイアログボックスの各項目を設定し、［次へ］をクリックする。

   セットアップ情報の設定が完了すると、［ファイル指定］ダイアログボックスが表示されます。

［キャンセル］をクリックすると入力した内容が消えてしまいます。

使用者名と会社名を日本語で設定する場合は、ExpressPicnicで設定してください。シームレスセットアップ中に日本語で入力することはできません。ただし、シームレスセットアップを使ったインストールを完了後、ログオンのときに表示されるポップアップ画面で再入力し直すことができます。

8. ［セットアップパラメータFD］チェックボックスがオンになっていることを確認し、［ファイル名］ボックスにセットアップ情報のファイル名を入力する。

9. 1.44MBでフォーマット済みのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、［OK］をクリックする。

「セットアップパラメータFD」が作成できました。「セットアップパラメータFD」はWindows Server 2003をインストールするときに使用します。ラベルを貼り大切に保管してください。

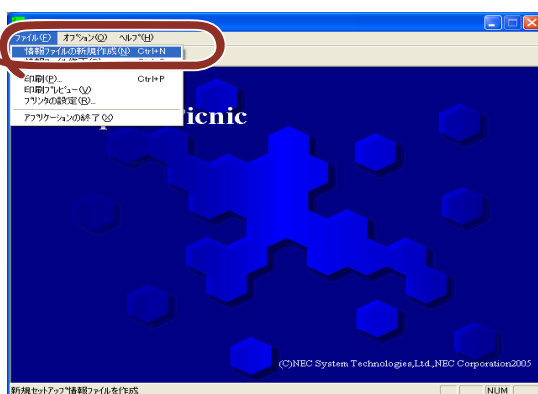
- 各項目の設定内容についてはヘルプを参照してください。
- 既存の情報ファイル（セットアップパラメータFD）を修正する場合は、ExpressPicnicウィンドウの［情報ファイルの修正］をクリックしてください。詳しくはヘルプを参照してください。

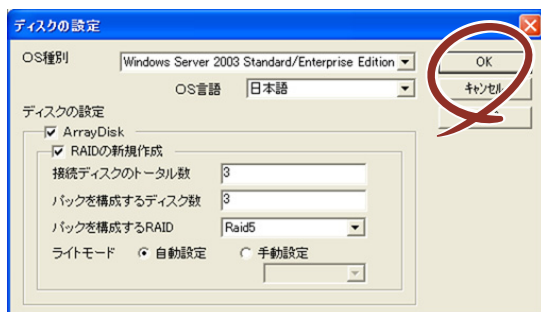
追加アプリケーションのインストール

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMでサポートしていないアプリケーションを追加でインストールする場合は、以下の手順に従って「セットアップパラメータFD」を作成してください。

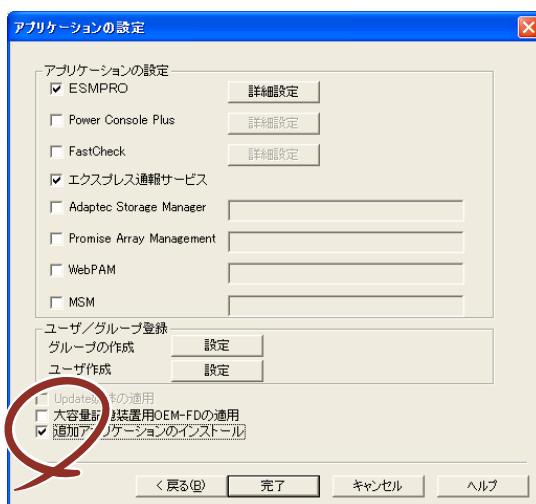
追加でインストールするアプリケーションは、シームレスセットアップに対応している必要があります。

1. ExpressPicnicウィンドウを表示させる（131ページ参照）。
2. ［ファイル］メニューの［情報ファイルの新規作成］をクリックする。

   ［ディスクの設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を設定し、［OK］をクリックする。

   ［基本情報］ダイアログボックスなど、セットアップ情報を設定するダイアログボックスが順に表示されます。

4. メッセージに従ってダイアログボックスの各項目を設定し、［次へ］をクリックする。

［キャンセル］をクリックすると入力した内容が消えてしまいます。

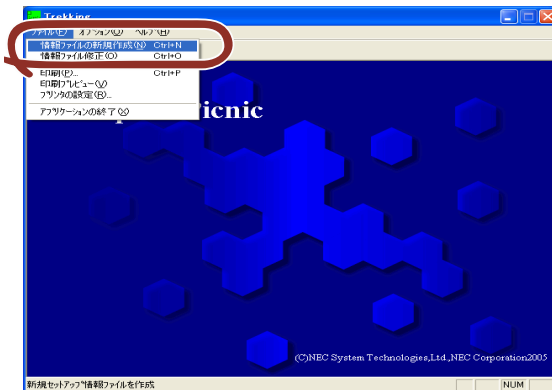
5. ［アプリケーションの設定］が表示されたら、［追加アプリケーションのインストール］にチェックを入れる。

6. ［ファイル指定］ダイアログボックスが表示されたら、［セットアップパラメータFD］チェックボックスがオンになっていることを確認し、［ファイル名］ボックスにセットアップ情報のファイル名を入力する。

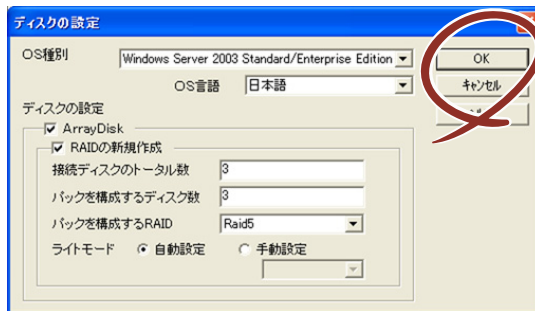
7. 1.44MBでフォーマット済みのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、［OK］をクリックする。

大容量記憶装置ドライバのインストール

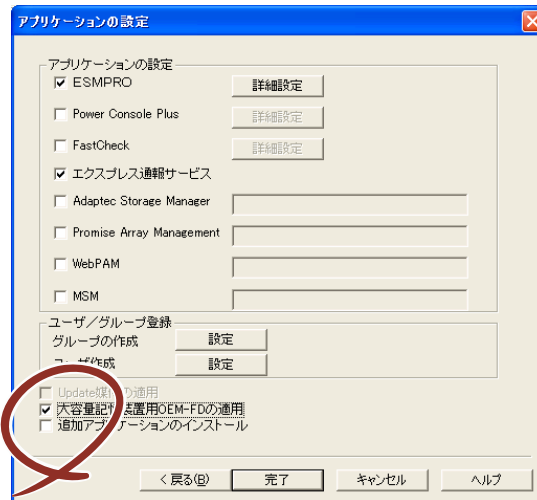
シームレスセットアップに対応しているオプションの大容量記憶装置ドライバをインストールする場合は、以下の手順に従って「セットアップパラメータFD」を作成してください。

1. ExpressPicnicウィンドウを表示させる（131ページ参照）。
2. ［ファイル］メニューの［情報ファイルの新規作成］をクリックする。

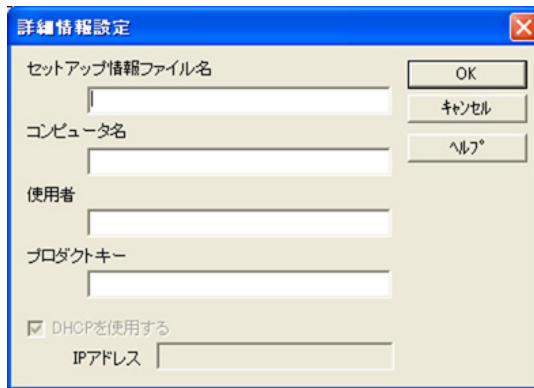
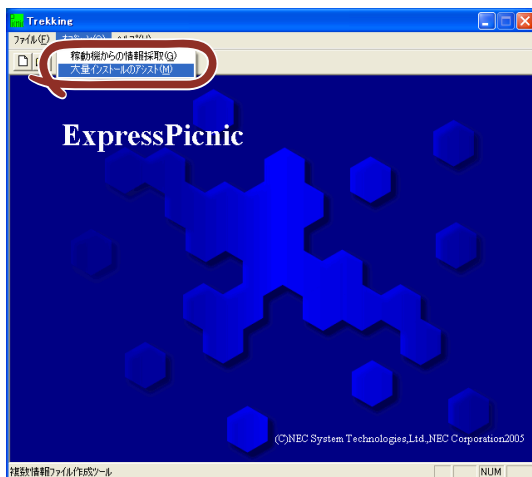
   ［ディスクの設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. 各項目を設定し、［OK］をクリックする。

   ［基本情報］ダイアログボックスなど、セットアップ情報を設定するダイアログボックスが順に表示されます。

4. メッセージに従ってダイアログボックスの各項目を設定し、［次へ］をクリックする。

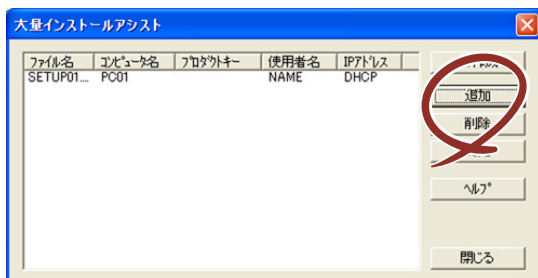
［キャンセル］をクリックすると入力した内容が消えてしまいます。

5. ［アプリケーションの設定］が表示されたら、［大容量記憶装置用OEM-FDの適用］にチェックを入れる。

6. ［ファイル指定］ダイアログボックスが表示されたら、［セットアップパラメータFD］チェックボックスがオンになっていることを確認し、［ファイル名］ボックスにセットアップ情報のファイル名を入力する。
7. 1.44MBでフォーマット済みのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、［OK］をクリックする。

大量インストール

ベースとなるセットアップ情報ファイルを指定し、マシンごとに変更する必要のあるパラメータのみ修正して、複数のセットアップ情報ファイルを作成します。

1. ExpressPicnicウィンドウを表示させる（131ページ参照）。
2. ［オプション］メニューの［大量インストールのアシスト］をクリックする。

3. ［ファイルを開く］画面でベースとなるセットアップ情報ファイルを選択する。

   ベースとなるセットアップ情報ファイルの設定値がリストの一番上の欄に表示されます。

4. ［追加］をクリックする。

5.　ベースとなるセットアップ情報ファイルから変更するパラメータを設定する。

6.　［OK］をクリックする。

リストに追加した情報が表示されます。

7.　ファイル名を選択し、［FD作成］をクリックする。

選択したファイル名のセットアップパラメータFDを作成します。

本体用バンドルソフトウェア

本体にバンドルされているソフトウェアの紹介およびインストールの方法について簡単に説明します。詳細はオンラインドキュメントをご覧ください。

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）は本装置にインストールする本体監視用アプリケーションです。
EXPRESSBUILDERのシームレスセットアップで自動的にインストールすることができます。ここでは個別にインストールする場合に知っておいていただきたい注意事項とインストールの手順を説明します。

運用上の注意事項については、添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent（Windows版）インストレーションガイド」に記載しています。ご覧ください。

インストール前の準備

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）を動作させるためには対象OSのTCP/IPとTCP/IP関連コンポーネントのSNMPの設定が必要です。

- **ネットワークサービスの設定**

  プロトコルはTCP/IPを使用してください。TCP/IPの設定についてはスタートメニューから起動する「ヘルプ」を参照してください。

- **SNMPサービスの設定**

  コミュニティ名に「public」、トラップ送信先に送信先IPアドレスを使います。ESMPRO/ServerManager側の設定で受信するトラップのコミュニティをデフォルトの「*」から変更した場合は、ESMPRO/ServerManager側で新しく設定したコミュニティ名と同じ名前を入力します。

インストール

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）のインストールは添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使用します。本装置のOSが起動した後、Autorunで表示されるメニューから［ソフトウェアのセットアップ］－［ESMPRO］－［ESMPRO/ServerAgent］の順にクリックしてください。以降はダイアログボックス中のメッセージに従ってインストールしてください。

管理者権限のあるアカウント(administrator)でシステムにログインしてください。

ネットワーク上のCD-ROMドライブから実行する場合は、ネットワークドライブの割り当てを行った後、そのドライブから起動してください。エクスプローラのネットワークコンピュータからは起動しないでください。

アップデートインストールについて
ESMPRO/ServerAgentがすでにインストールされている場合は、次のメッセージが表示されます。

ESMPRO/ServerAgentが既にインストールされています。

メッセージに従って処理してください。

インストール後の確認

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）をインストールした後に次の手順で正しくインストールされていることを確認してください。

1. 本装置を再起動する。
2. イベントログを開く。
3. イベントログにESMPRO/ServerAgent（Windows版）の監視サービスに関するエラーが登録されていないことを確認する。

   エラーが登録されている場合は、正しくインストールされていません。もう一度はじめからインストールし直してください。

Web-based Promise Array Manager

Web-based Promise Array Manager(以下WebPAMと略記します)は、N8103-89のRAIDシステムの監視・管理を行うアプリケーションです。WebPAMを使用することで、システム運用中のアレイ保守やイベント監視による通報を行うことができます。

WebPAMのインストールおよび操作方法については、添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「Web-based Promise Array Managerユーザーズガイド」を参照してください。この説明書には運用にあたって注意すべきことも掲載しています。運用開始前に必ずお読みください。

カスタムインストールモデルでのセットアップ

モデルによっては購入時にWebPAMがあらかじめインストールされている場合があります。この場合、この他にInternet Explorerの設定や通報監視についての設定などが必要な場合があります。「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「Web-based Promise Array Managerユーザーズガイド」の付録を参照し、設定してください。

シームレスセットアップを使ったセットアップ

WebPAMは添付の「EXPRESSBUILDER」に収められている自動インストールツール「シームレスセットアップ」を使ってインストールできます。シームレスセットアップを開始すると、アプリケーションを設定するダイアログボックスが表示されます。ここで「Web-based Promise Array Manager」を選択してください。
Internet Explorerの設定や通報監視についての設定などが別途必要な場合があります。「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「Web-based Promise Array Managerユーザーズガイド」の付録を参照し、設定してください。

手動インストール(新規インストール)

手動でWebPAMをインストールする場合は「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「Web-based Promise Array Managerユーザーズガイド」を参照してください。

エクスプレス通報サービス

エクスプレス通報サービスに登録することにより、システムに発生する障害情報（予防保守情報含む）を電子メールやモデム経由で保守センターに自動通報することができます。
本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知したり、障害発生時に迅速に保守を行ったりすることができます。

カスタムインストールモデルでのセットアップ

モデルによっては購入時にエクスプレス通報サービスがあらかじめインストールされている場合もあります。インストール済みのエクスプレス通報サービスはまだ無効になっております。必要な契約を行い、通報開局FDを入手してから、次の操作を行うとエクスプレス通報サービスは有効になります。エクスプレス通報サービス有効後はEXPRESSBUILDER内にあるオンラインドキュメント「エクスプレス通報サービスインストレーションガイド」を参照して設定してください。

セットアップに必要な契約

エクスプレス通報サービスを有効にするには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

- **本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービスの契約**

  本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービスのみの契約がお済みでないと、エクスプレス通報サービスはご利用できません。契約内容の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- **通報開局FD**

  契約後送付される通報開局FDが必要となります。まだ到着していない場合、通報開局FDが到着してから、セットアップを行ってください。

エクスプレス通報サービスを有効にする操作

次の手順で購入時にインストール済みのエクスプレス通報サービスの機能を有効にします。

1. ［コントロールパネル］の［ESMPRO ServerAgent］を選択する。
2. ［全般］タブの［通報の設定］をクリックする。

   アラートマネージャ設定ツールが起動します。
3. ［ツール］メニューの［エクスプレス通報サービス］、［サーバ］を選択する。

   ［エクスプレス通報サービスセットアップユーティリティ］が起動します。

   通報開局FDをフロッピーディスクドライブにセットし、通報開局FDを読み込む。

   エクスプレス通報サービスが有効となります。

手動インストール（新規インストール）

手動でインストールする場合は、以下の説明を参考にしてインストールしてください。

エクスプレス通報サービスのセットアップ環境

エクスプレス通報サービスをセットアップするためには、以下の環境が必要です。

ハードウェア

- メモリ
  18.0MB以上
- ハードディスクドライブの空き容量
  30.0MB以上
- メールサーバ
  電子メール経由の通報を使用する場合、SMTPをサポートしているメールサーバが必要です。

ソフトウェア

- 添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のESMPRO/ServerAgent
- 上記、ESMPRO/ServerAgentがサポートするOS
- マネージャ経由の通報を使用する場合は、マネージャ側に以下の環境が必要です。
  ESMPRO/ServerManager* ＋ ESMPRO/AlertManager Ver.3.4以降

  * 監視対象となるサーバにインストールされているESMPRO/ServerAgentのバージョン以上を使用してください。

  (例)監視対象となるサーバにインストールされている ESMPRO/ServerAgent のバージョン3.8の場合、バージョンが3.8以上のESMPRO/ServerManagerが必要です。

セットアップに必要な契約

セットアップを行うには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

- **本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービスの契約**

  本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービスのみの契約がお済みでないと、エクスプレス通報サービスはご利用できません。契約内容の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- **通報開局FD**

  契約後送付される通報開局FDが必要となります。まだ到着していない場合、通報開局FDが到着してから、セットアップを行ってください。

エクスプレス通報サービスのセットアップについては、「オンラインドキュメント」を参照してください。

管理PC用バンドルソフトウェア

装置をネットワーク上から管理するための「管理PC」を構築するために必要なバンドルソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerAgentがインストールされたコンピュータをネットワーク上の管理PCから監視・管理するには、本体にバンドルされているESMPRO/ServerManagerをお使いください。管理PCへのインストール方法や設定の詳細についてはオンラインドキュメントまたはESMPROのオンラインヘルプをご覧ください。

ESMPRO/ServerManagerの使用にあたっての注意事項や補足説明がオンラインドキュメントで説明されています。添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManager インストレーションガイド」を参照してください。